

春休みの旅行

宮原 ソニア

今学期の春休みにはロスアンジェルスとラスベガスへ行った。これまで、西海岸をたずねたことが無くて、卒業する前に一回行かなければならないと思った。友達三人と一緒に月曜日、四月五日の朝早く出発した。週末に飛ぶより平日に飛ぶ方が安かったのだ。私達はみんな学生で出来るだけ安い方法（グループ割引とか）を探して計画をした。全部インターネットから予約していたので楽しかった。

ロスアンジェルスに着いたらボストンより何となく温かかったのが嬉しかった。緑の木がたくさん見えて気分が爽やかになった。私たちはレンタカーでいろいろな所をたずねることが出来た。ハリウッドも見に行きましたが思っていたほどすばらしくなかった。ハリウッドを見に来た外国人がたくさんいて建物とかの写真をチャカチャカとっていた。ワングティエターとかいろいろな信じられないことを見せている博物館をたずねた。一つの博物館にはとても大変な事後があった後も生きた人達の像があって本当に信じられないことばかりだった。人が映画スターのためにどのくらい夢中になっているのかを考えてみると何かこわくなった。

ボストンの寒さから逃げたかった私達はサンタモニカの浜へ行ったのですが海の水がまだ冷たくて泳げなかった。泳ぐことは出来なかくても、ブランダイスに帰った後、友達に私たちは浜にも行ったと言うために小麦色にならなければ

ならないと思いながら砂に座っていましたが 太陽がなかなか出てこなくて ざんねんだった。

ロス アンジェルスからラス ベガスまで車でいった。四時間ぐらいかかったが私は運転出来ないのが安全だった。ラスベガスの本当に驚くべきなことはその市に着く前は 不毛の土地ばかりだったが、ベガスに着いたら大きいビルがたくさんあった。大きい娯楽のような感じがして、本当に遊ぶためにだけ作った市だった。私たちはみんな二十一歳過ぎていたので賭け事をする事が出来ましたがけれどあまりお金を無くしたくなかったのが、スロット マシンでコインだけで遊んだ。私が初めて遊んだ時 コインを十五こも勝ち取りましたけれど、後で全部負けてしまった。

夜になるとベガスは最もすばらしい所になって来た。ネオンサインがきらきら光って人々がたくさん歩いていてとても面白かった。いろいろな上映があって私たちは一つの喜劇を見に行き、涙が出るぐらい笑ってしまった。

西海岸で食べた食事はブランダイスで食べている食事とあまり変わらなかったが一緒に行った友達たちは ブフェイばかりに行かせて私だけがちょっと困った。友達は何回も食べる事が出来て、私は本当に驚いた。一回でそんなにたくさん食べられる人を初めて見た。女性二人と男性二人で一つの部屋に止まっていたが、トイレの問題しかほかの問題はなかった。私ともう一人の友達は朝起きることがなかなか出来なくて、いつも子供のようにほかの二人の友達に起こされた。

あまりにも遊びすぎて疲れた私たちは ボストンへ帰ってからちょっと体を休めた。でも今学期の終わりが 近づいて来たので みんな勉強で大変です。時々旅行

に行かないでちゃんと宿題をしていた方がよかったのと思いますが今考えると西海岸に行ったことはいつまでも忘れない経験になった。それにこれはブランドイスにいる間に旅行できた最後の旅行だった。私にとって西海岸は何か広すぎて一人ぼっちになってしまう感じがしたので、すむのはボストンの方良かった。